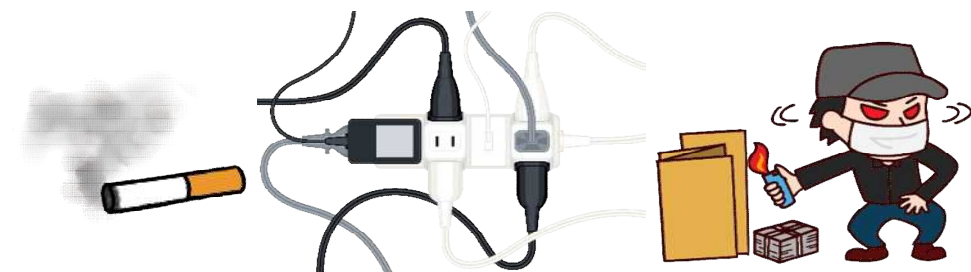


知っておきたい！事業所の火災リスクと「命を守る道」 火災予防から始まる、強い組織のBCP(事業継続計画)。

いきなりですが問題です。

Q. 事業所での火災原因、もっとも多いのはどれでしょう？

- ① たばこの不始末 ② 電気機器・配線 ③ 放火

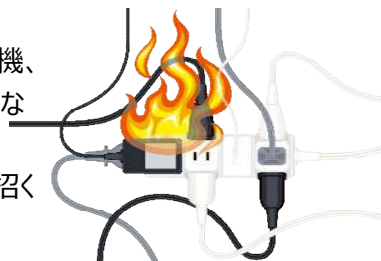


A. 正解は「② 電気機器・配線」です！

長年差しっぱなしのデスク裏の配線や、冷蔵庫、コピー機、サーバー、シュレッダー、自動販売機などの裏側のプラグなど。ホコリが溜まっていませんか？

「心配しなくても大丈夫」という過信が、思わぬ火災を招くことがあります。

火災は全てのものを焼き払ってしまいます。ただの「不注意」で済ませられません。具体的なリスクを把握し、全社員で「職場の安全」を再点検しましょう。



事業所火災「原因ワースト3」対策

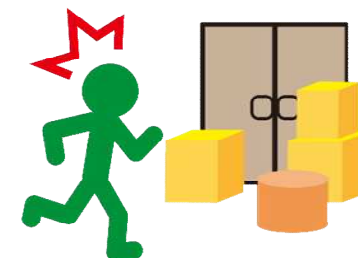
順位	原因	要注意ポイント	チェック項目
1位	電気機器・配線	コンセントのホコリ、断線	☐ デスク下のタコ足配線 ☐ 古いOA機器の異常な熱
2位	たばこ	不完全な消火、ポイ捨て	☐ 吸い殻が山盛りの灰皿 ☐ 隠れ喫煙場所の放置
3位	こんろ (厨房)	火をつけたままの離席	☐ 給湯室での「つつい」離席 ☐ 油污れが溜まった排気ダクト

火災が発生した際、被害を最小限に抑えるのは「初期消火」と「迅速な避難」です。しかし、忙しい年度末、ついやってしまいがちな「これくらいなら…」が命取りに。

1. 通路や階段に荷物を置いていませんか？

「一時的だから」は通用しません。

煙が充満した視界不良の中、わずかな段ボール一箱が避難の障害となり、パニックの原因となるのです。



特に、**防火戸の周り・階段は厳禁**！ 火災時に自動で閉まる防火戸の軌道上に物があると、炎と煙を防ぐことができず、被害が建物全体に広がります。

2. 誘導灯（緑の看板）は見えていますか？

高い積み上げられた在庫や、新しく設置したパーテーションで、誘導灯が隠れていませんか？



「**どこからでも出口が見える**」ことが、生存率を劇的に高めます。日頃から確認しておきましょう。

「避難訓練は面倒」という声も聞かれますが、一度体験するだけで、火災時の生存率は大きく変わります。春の火災予防運動や3月11日東日本大震災記念日を機に、まずは「**避難経路を歩いてみる**」ことから始めてみませんか？

3. 11日「東日本大震災」から15年目を迎えます。備蓄の点検を！

備蓄に関するご相談は防災士在店の当店にお任せください。

防火管理サポートサービス始めました！

防火管理の仕事は重要だけど、忙しさについつい後回しになりがちではないですか？ そんな、防火管理者様のお仕事を代行します。詳しくは担当者へお問い合わせください。

